



SKOPJE MARRIOTT HOTEL

首都スコピエにあるマリオットホテル「Skopje Marriott Hotel」はマケドニアの迎賓館としての役割を担い、MICEを含めすべてのニーズに対応する同国の旗艦ホテルと言える。スコピエの象徴であるマケドニア広場に鎮座するアレキサンダー大王像の真正面に位置する最高のロケーションだ



首都スコピエはある意味、世界一奇妙な街かも知れない。広場を中心に銅像の数が尋常ではなく、パリの凱旋門を模したものやギリシャ神殿風の建物などが多く立ち並び、まるでテーマパークの様相である。国威発揚のためとはいえ、旧共産主義国家の匂いが色濃く感じられる興味深い街である



夜間、美しい照明から浮き上がったマリオットホテル「Skopje Marriott Hotel」の正面ファサード



ホテル正面エントランスから館内に入ると、共産圏時代の鈍重としたレセプションの雰囲気とは打って変わり、スタイリッシュなデザインコンセプトに驚く



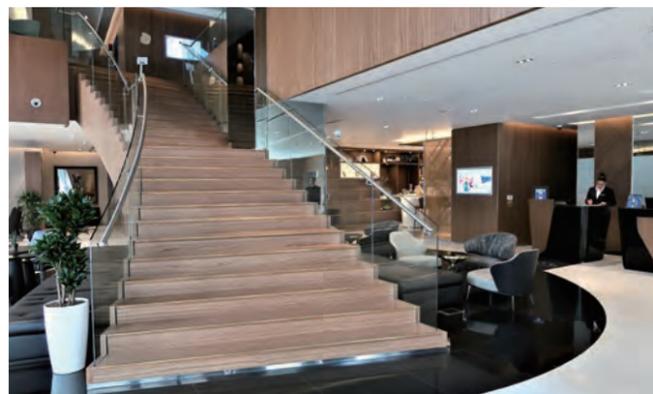
マケドニアの迎賓館の役割を担うゴージャスなロビーラウンジ



レストラン「Distrikt Bar & Kitchen」のゆったりとしたバー&ラウンジ



筆者 **小原 康裕**
国際ホテルジャーナリスト
慶応義塾大学法学部法律学科
投資顧問会社 Haraken & Co.,Ltd. CEO
JHRCA 日本ホテルレストランコンサルタント協会専務理事
JARC 宿泊施設関連連協会
アドバイザーボードメンバー
SKAL International Tokyo,
Professionnels du Tourisme 会員
www.jhrca.com/worldhotel/?cat42
www.hoteresonline.com
<https://www.facebook.com/yasuhiro.obara.16>
New Site (随時更新中)
www.whj.jp



エントランスホール正面にある気品あるステアケース

Skopje Marriott Hotel

2018年にギリシャからスロベニアを経てイタリアに抜ける、旧ユーゴスラヴィアの国々を中心にバルカン半島を訪問して来た。日本人にとってなじみの薄い地域だが、今回のマケドニア(現在の呼称は「北マケドニア」に変更)から、これら興味深い国のホテルを順次ご紹介していく。首都スコピエにあるマリオットホテル「Skopje Marriott Hotel」はマケドニアの迎賓館的ホテルで、西欧諸国のホテルに見られるモダンな要素をふんだんに取り入れたマリオットである。スコピエの象徴であるマケドニア広場に鎮座するアレキサンダー大王像

の真正面に位置する最高のロケーションだ。2015年に開業し、スイートを含め全164室を擁する大型ホテルで、MICEを含めすべてのニーズに対応する同国の旗艦ホテルと言える。
首都スコピエはある意味、世界一奇妙な街かも知れない。広場を中心に銅像の数が尋常ではなく、パリの凱旋門を模したものやギリシャ神殿風の建物などが多く立ち並び、まるでテーマパークの様相である。国威発揚のためとはいえ、旧共産主義国家の匂いが色濃く感じられる興味深い街だ。マケドニアは隣国ギリシャとの軋轢を抱えた国で、原因はその国名にある。“マケドニア”とは元来ギリシャ北方にある領域で、有名なアレキサンダー大王を



レストラン「Distrikt Bar & Kitchen」はすべての料理を担当し、写真はグループゲスト用の華やかなソファ席



地元のワイン産地の地図や案内が書かれた座席背後の壁面がお洒落だ



ブレックファストは多彩なメニューが所狭しと並び、選ぶのに苦労するくらいだ



トップライトから陽光が差し「Distrikt Bar & Kitchen」に付属したカジュアルダイニング



エグゼクティブラウンジにはコートヤードのテラス席が付帯する



軽快な雰囲気を感じられるレイアウトのエグゼクティブラウンジ内部。ここで軽食とアルコールを含む飲み物が提供される

輩出した古代ギリシア人が建てた国であった。それが突然、旧ユーゴスラビアから独立した一国がマケドニアと国名に称した訳で、困惑した隣国ギリシャと紛争が続いていた。

マケドニア広場に位置したホテル正面エントランスから館内に入ると、共産圏時代の鈍重としたレセプションの雰囲気とは打って変わり、スタイリッシュなデザインコンセプトに驚く。今回は約62㎡の広さを持つ「Premier Suite」をご紹介したい。エグゼクティブラウンジのアクセスの付いたスイートで、部屋からはマケドニア広場の全貌が見渡せる理想的な居住空間だ。レストランは「Distrikt Bar & Kitchen」が料理すべてをカバーし、特にブレッ

クファストの多彩なメニューに驚かされる。エグゼクティブラウンジにはテラスが付帯し、軽食とアルコールを含む飲み物が提供される。スパ施設「Dandelion Spa & Health Club」は市内随一のクオリティを誇り、ジム、フィットネスクラブ、小規模ながら室内プールも用意している。

マケドニアの首都スコピエはマザーテレサとの関連も深い。テレサはこの街で生まれ隣国のアルバニアやコソボにも影響を与え、世界で布教活動を施しインドのコルカタで没している。スコピエの街にはテレサの銅像や記念プレートも多くあり、マリオットホテルを起点に彼女の足跡をたどるのも一興である。



プレミアスイート「Premier Suite」のリビングルームから望む巨大なアレキサンダー大王像。マリオットホテルは2015年に開業し、スイートを含め全164室を擁する大型ホテルで、西欧諸国のホテルに見られるモダンな要素をふんだんに取り入れた新進のホテルだ



プレミアスイートのベッドルーム。ベッドヘッドの背後にバスルームが位置する



プレミアスイートは約62㎡の広さを持ち、リビングルームは余裕のある造りだ



プレミアスイートはエグゼクティブラウンジのアクセスの付いたスイートで、部屋からはマケドニア広場の全貌が見渡せる理想的な居住空間だ



ベッドルームの背後にあるバスルームは、シャワーブース、バスタブ、パウダールームと一直線に並ぶ